

平成 27 年度 活動の記録  
(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

# 自然災害から身を守ろう！



(盛岡地区広域地域づくり協議会研修会の様子)

土砂災害防止法が改正され、①土砂災害の危険性のある区域の明示、②避難のための情報提供、③避難体制の充実・強化が盛り込まれました。岩手県における土砂災害警戒区域等の指定は、全危険箇所数の3割にも満たない状況です。今後もあらゆる機会をとらえ、緊急時の避難や備えの重要性を住民に伝える活動が必要でしょう。

特定非営利活動法人 防災ネットいわて

## 業務実施の方針

平成 27 年度は、昨年に引き続き、次の方針で事業を実施しました。

- ・ 調査研究，提案，研修活動等を通して，組織活動の活発化を図る。
- ・ 地域の問題解決を図るため，他団体からの受託事業を円滑に実施し，積極的な事業展開を図る。

## 活動概要

本年度の活動は，例年通りの委託事業や土砂災害写真パネル展の他，研修会講師，仙台市で開催された国連防災世界会議への個人参加等を実施しました。岩手県からの委託事業である土砂災害防止法基礎調査説明会補助業務は，平成 27 年度で 10 年目となり，写真パネル展と共に当 NPO の主要な活動となっています。

写真パネル展は今回も岩手県砂防災害課と共同で開催しました。県内外で発生した土砂災害状況等の写真パネルや小中学生が作成した土砂災害防止啓発ポスター等を展示しました。

今年も岩手県や市町村職員をはじめ，多くの方々にご協力いただき，活動を続けることができました。改めて感謝申し上げます。

## 実施した事業および主な活動

### 【盛岡地区広域地域づくり協議会研修会】

実施日時：平成 27 年 5 月 28 日 14:00～16:00

実施場所：都南公民館(盛岡市)

盛岡地区広域地域づくり協議会では，盛岡広域圏内の河川，道路等の整備促進と適切な維持管理を行うための研修や情報交換を行っています。この平成 27 年度研修会が都南公民館 3 階第 2 研修室で開かれ，井良沢理事長と八重樫副理事長とが「災害への粘り強くしなやかな対応 ～郷土を知り得て災害に備える～」のテーマで講演しました。出席した市町村防災部署職員に対し，土砂災害の概要，盛岡広域地区の地質，土砂災害危険箇所，災害具体例，災害防止や



減災に向けた対策等の説明を行い，理解促進のお手伝いをしました。

### 【岩手の土砂災害写真パネル展】

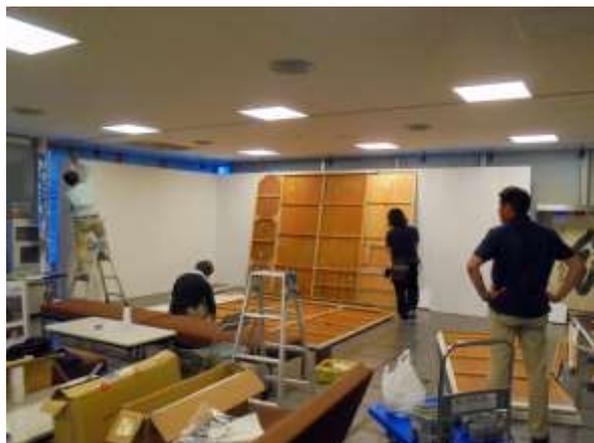
実施日時：平成 27 年 6 月 1～12 日 9:00～17:00

実施場所：岩手県庁 1 階県民室

岩手県県土整備部砂防災害課との共催で，写真パネル展を土砂災害防止月間である 6 月に開催しました。

平成 26 年 8 月 20 日，広島市北部の豪雨では土石流が 107 渓流，がけ崩れが 59 箇所が発生し，74 名の方が亡くなっています。県内でもその前年 8 月 9 日の記録的降雨による斜面崩壊で 1 名の犠牲者が出ています。

今回のパネル展はこれらの写真を中心に展示しました。また，県内の小中学生が作成した土砂災害防止に関する絵画のうち，最優秀賞・優秀賞 3 点も展示しました。



### 【土砂災害基礎調査説明会住民周知事業】

岩手県から委託を受けて実施している同事業は，10 年目となりました。土砂災害防止法に基づく基礎調査結果・警戒区域指定に関する説明会の資料配布と，説明会受付，説明補助，議事録の作成および住民の意識調査を行っています。

広島市で発生した大規模土砂災害の後，土砂災害防止法が改正されました。その中に警戒区域等の指定促進が盛り込まれており，基礎調査結果の住民説明会が増える傾向にあります。

平成 27 年中は，県南土木管内の花巻市，県北土木管内の久慈市・洋野町，二戸土木管内の九戸村，大船渡土木管内の大船渡市・陸前高田市・住田町および盛岡土木管内の紫波町で業務を実施しました。



盛岡土木管内（紫波町）



大船渡土木管内（住田町）



大船渡土木管内（大船渡市）



大船渡土木管内（陸前高田市）

### 【第3回国連防災世界会議参加報告】

平成27年3月14日(土)～18日(水)、仙台市を中心に「第3回国連防災世界会議」が開催されました。国連主催の本体会議にあわせ、防災や復興に関するシンポジウムや展示会、パブリックフォーラム等が多数開催されました。当NPOでは、その幾つかに個人参加しました。



世界の防災展(せんだいメディアテーク)

#### 1. 日本活断層学会パブリックフォーラム

3月16日(月)10:00～12:00、「活断層を知り災害に備える」をテーマに講演および討論が行われました。活断層の説明で始まり、地震により生じた国内外の災害事例、災害の軽減策等の紹介を経て、総合討論で終了しました。土砂災害に関係する意見や事例等を整理しました。

- ・日本海溝でM8.5を超えるような大地震の前後は、内陸部で地震が多発する傾向がある。
- ・地震による被害は断層の上盤側が大きい。パキスタンでは町が壊滅した。

- ・地震に伴い地すべりが発生している。特に融雪期は注意が必要。
- ・中国四川では地震の 1,2 年後に大土石流が発生し，復興中の町が水没した。
- ・地すべりや活断活動は土地の変形であるので，耐震建築でも耐えられない。
- ・活断層上の土地利用規制が海外で知られているが，横浜市や徳島県でも取り組まれている。
- ・ハザードマップはある前提に基づき作成されたもので，万能ではない。住民にはこの点を理解してほしい。



## 2. 防災産業展 in 仙台

3月15日(日)～17日(火)，夢メッセみやぎにて災害対策，災害時の業務継続(BCP)，エネルギー対策，次世代農業，ロボットなどを主な展示テーマとした最先端の技術・製品が展示されました。子供連れの来場者も多く，防災意識の向上にも大いに役立つ展示会となっていました。



防災産業展入口



地すべり対策用高効率集水管



災害復旧車両



災害時の非常用トイレ



救命艇シェルター



パンクしない四輪駆動車



ワークショップの様子



消防隊員用ベッドを見る我が息子

### 平成 27 年度 活動の記録

(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

平成 28 年 2 月 19 日 発行

編 著：特定非営利活動法人 防災ネットいわて  
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 4-4-20  
TEL:019-643-8890 FAX:019-643-8892  
E-Mail: bni@eins.rnac.ne.jp  
URL: <http://www.eins.rnac.ne.jp/~bni>